

子ども会情報交換会

主催：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会（市子連）

日 時 令和4（2022）年6月25日（土）14:00-16:00

会 場 伊勢原市中央公民館3階第1学習室

参加者 単子役員等 15名（うち子ども2名）
市子連役員 6名 事務局 2名 計 23名

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 講話「子ども会の安全な活動」
講師：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 会長 磯部 千津子
・グループワーク「健康チェックシート」 子ども会バージョン作成
- 4 情報交換
・自己紹介 ・役員になって思っていること
・役員になって困っていること ・やってみたいこと
【質疑応答】
- 5 閉 会

参加者内訳

伊勢原地区	
大田地区	・板戸第三子ども会 2名 ・市子連役員 1名
・つきみの子ども会 2名	
・新屋子ども会 2名	成瀬地区
・下谷子ども会 1名	・市子連役員 1名
・東沼目子ども会 2名	石田地区
・下小稲葉子ども会 2名	・市子連役員 1名
・西沼目子ども会 2名	高部屋地区
・市子連役員 2名	・市子連役員 1名

講話「子ども会の安全な活動」

- ・講師より、子ども会の組織、市子連の取り組み等を、スライドに沿って説明、KYT（危険予知トレーニング）シートの紹介（市子連HPにも掲載があります）
- ・グループワーク コロナ禍での活動のための子ども会用の「健康チェックシート」の作成

情報交換

- 自己紹介 グループごとの自己紹介
- 役員になって思っていること・困っていること
・仕事をしながら、打ち合わせや準備を行うことが大変
・子どもが減ってきている
・役員の人数が少ない（なり手がもういない）
⇒保護者負担の大きいイベントはやらなくてもよい。
⇒LINEなどを活用し、書記の仕事量を減らす
⇒大変と思わず、子どもたちの楽しみのためにと考えて、役員も楽しむ
⇒経験者も混ぜた役員構成にする
⇒自治会、保護者など大人の意識を変えていく
⇒自治会からの助成金は子どものために使っていく
- やってみたいこと
・新しい形でのイベント
⇒手伝ってもらう（ジュニアリーダー、青少年指導員、OBなど）
⇒ラジオ体操や神社掃除+宝探し・外遊び・ミニ夏祭りなど
楽しいイベントを同時に行う
⇒子どもに聞いてみる
⇒ゲーム・射的など、子どもが店番をする 質疑は特にありませんでした。



参加者の学び、感想など

役員は特権／役員も楽しむ／ボウリング大会を開いてよかった／子どもが先生／子どもの意見、やりたいことを聞いてみる／子どものために、子どもと一緒に楽しむことが一番大事。無駄を省く／今できることを大人も楽しんでやる。情報交換会に参加し、皆さんとはなせたことがとても良かった／役員の意識を変え、やれることをやる／いかに負担を減らして子どもと「楽しめるか」／既存のイベントに+αする視点／合同イベントをやりたい

お問い合わせ 市子連事務局 伊勢原市子ども部青少年課 seisyounen@isehara-city.jp